建設の未来をつなぐ

株式会社アマノ

アマノ（株）での五日間のインターンシップ

福山大学経済学部国際経済学科３年生の李　艾璇（リ・ガイセン）です。 この夏休みに、アマノ（株）で五日間のインターンシップに参加しました。

1．インターンシップへの参加目的と目標

今回インターンシップに参加した理由は、大学卒業後に就職する前に、実際の職場の雰囲気や社会人の働き方を体験してみたいと思ったからです。また、私は留学生なので、日本の会社ではどのように仕事をしているのか、社員同士ではどのようにコミュニケーションを取っているのかについても知りたいと思いました。

実習先の株式会社アマノは建設資材を扱う専門商社なので、商社の仕事や建設業界について、実際にはどのような仕事をしているのかを知ることも今回の目的の一つでした。

インターンシップに参加する前に、私は「傾聴力」「課題発見力」「実行力」の三つを目標として決めました。傾聴力については、社員の方の説明をしっかり聞き、重要なところをメモすることを意識しました。課題発見力については、毎日の実習が終わった後に、その日の自分の行動を振り返り、次の日に改善できることを考えるようにしました。また、実行力については、グループワークなどでできるだけ自分から発言し、分からないことがあれば質問することを目標にしました。

2．実習内容

五日間のインターンシップでは、会社説明、業界研究、グループワーク、社員の方との座談会、工場や工事現場の見学、最後の成果発表など、さまざまな活動を体験しました。

最初の二日間は、商社の役割やアマノの仕事内容、取り扱っている商品などについて学びました。また、福山市立大学附属幼稚園をテーマにした建設資材の提案や、マツダスタジアムが完成するまでの流れをすごろく形式で学ぶ活動など、グループで考える機会も多くありました。施工管理の仕事についてゲームを通して学んだり、社員の方から土木や建設資材について説明を受けたりもしました。

三日目と四日目は、工場や工事現場を見学しました。実際に製品や現場を見ることで、それまで説明や写真で学んだ内容を、より具体的に理解することができました。最終日は、五日間で経験したことや学んだことを整理し、インターンシップの成果発表を行いました。

3. 印象に残った経験

今回のインターンシップで特に印象に残ったことは、グループワーク、工場や現場の見学、そして最後の成果発表です。

グループワークでは、他の学生と一緒に一つの課題について考える機会が多くありました。自分では思いつかなかった意見を聞くことも多く、同じ課題でも人によって考え方が違うことが面白いと感じました。また、社員の方もとても話しやすく、分からないことがあった時にも丁寧に説明してくださいました。そのため、最初は少し緊張していましたが、だんだん自分から話しやすくなりました。

一番楽しかったのは、工場や工事現場を見学した時間です。実際に現場へ行き、自分の目で製品や設備を見ることができたので、教室で説明を聞くだけでは分からないことをたくさん知ることができました。特に、普段はあまり意識していなかった道路や建物などにも、多くの建設資材が使われていることが印象に残りました。

もう一つ印象に残っているのは、最終日の成果発表です。私は日本語で発表することに少し不安があり、発表前はかなり緊張しました。しかし、実際に発表してみると、自分が思っていたより落ち着いて話すことができました。発表の後、社員の方や社長、支店長、他の参加者の方からも良い評価や励ましの言葉をいただき、とてもうれしかったです。自分にとって大きな自信になりました。

4. 実習を通して学んだことと自分自身の成長

今回のインターンシップを通して、専門商社に対するイメージが変わりました。実習前は、商社というと、商品を仕入れて必要な会社に販売する仕事というイメージが強かったです。しかし、アマノについて学んでいく中で、商品を販売するだけではなく、顧客に合った提案をしたり、施工に関わったりする仕事もあることを知りました。

また、建設の仕事は一つの会社だけでできるものではなく、メーカー、商社、施工会社、工事現場など、多くの人が関わっていることも分かりました。その中で、商社は商品を売るだけではなく、さまざまな会社や人をつなぐ役割も持っていると感じました。

自分自身についても、五日間の中で少し変化があったと思います。最初の頃は、建設や土木に関する専門用語が多く、社員の方の説明を理解するのに時間がかかることがありました。そのため、説明を聞きながらできるだけメモを取り、分からない部分も後から確認できるようにしていました。

また、最初は日本語に自信がなく、疑問に思ったことがあっても、自分から質問することを少しためらっていました。しかし、毎日社員の方の説明を聞いたり、グループワークに参加したりする中

で、少しずつ自分から考えて話せるようになりました。特に最後の二日間の見学では、説明を聞くだけではなく、実際に現場を見ながら自分で疑問に思ったことを考え、社員の方に質問することもできました。そして、質問したことについて詳しく説明していただき、自分から聞くことで理解が深くなることを実感しました。

最後の成果発表も、自分にとって大きな経験でした。最初はうまく話せるか不安でしたが、実際には思っていたよりもうまく発表することができました。完璧な日本語ではありませんでしたが、自分の考えを最後まで伝えることができたことは、自分の成長の一つだと思います。

一方で、自分の意見があっても、日本語でどのように言えばよいか考えている間に、他の人の話が進んでしまうこともありました。そのため、今後はもっと早く自分の考えを整理し、簡単な言葉でもすぐに伝えられるようになることが課題だと感じました。

5. 今後の課題とまとめ

今回のインターンシップを通して、今後一番力を入れたいと思ったことは日本語です。仕事の場では、相手の説明を理解するだけではなく、自分の考えを伝えたり、分からないことをその場で質問したりすることも必要だと感じました。私はまだ日本語で話す時に考える時間が必要なので、これからは資格の勉強だけではなく、実際に日本語を話す機会も増やしていきたいです。

また、今回実際に日本の会社で働く方々と接したことで、就職についても以前より具体的に考えるようになりました。これからは、企業や業界について調べる機会を増やし、自分がどのような仕事に興味があるのかについても考えていきたいと思います。

日本語だけでなく、英語の勉強も続けていきたいです。将来は、日本語と英語の両方を使えることを自分の強みにできたらいいと思っています。

今回の五日間では、会社や建設業界について学んだだけではなく、自分自身の得意なところや、まだ足りないところにも気づくことができました。最初は少し緊張もありましたが、社員の方や一緒に参加した学生の方々が優しく接してくださり、楽しく五日間を過ごすことができました。今回学んだことをこれからの大学生活や就職活動にも生かしていきたいと思います。五日間、さまざまなことを教えてくださった株式会社アマノの皆様に感謝しています。


株式会社アマノ
福山支店